

ブルガリア政治経済概況

2005年8月

ジェットロ・ウィーン・センター

政治関係

- 総選挙が2005年6月25日に実施され（定数240、任期4年）、社会党を中心とする左派連合が与党第1党に。
- 2005年7月27日、首相指名選挙で社会党のスタニシェフ党首が首相に選出される。閣僚の承認は否決。
- 2005年8月15日、社会党、SIINM、MRFの3党で連立を合意し、翌16日閣僚が承認される。
- 新内閣では、旧経済省と旧資源・エネルギー省が統合され、経済・エネルギー省が誕生し、社会党のオフチャレク副党首が任命される。観光省、スポーツ省は廃止。

| 議会会派名(*与党) | | 得票率 (%) | 議席数 |
|----------------------------------|-----------|---------|-----|
| ブルガリアのための連合 (社会党、民主左派連合) * | CB | 34.17 | 82 |
| シメオン2世国民運動* | SIIN M | 22.08 | 53 |
| 権利と自由のための運動* | MRF | 14.17 | 34 |
| 攻撃 | Ataka | 8.75 | 21 |
| 民主勢力同盟議会連盟 | UdF | 8.33 | 20 |
| ブルガリアのための民主主義 | DSB | 7.08 | 17 |
| 国民同盟 | BNU | 5.42 | 13 |

経済関係

- 2004年度のGDP成長率は5.6%で、前年の4.5%から加速。
- 引き続き堅調な回復基調の下、生産増加が労働市場に改善をもたらし、2004年度の平均失業率は12.2%に改善。
- 2004年の外国直接投資受け入れ額(ネット、フロー)は21億1,400万ユーロ(14.3%増)で過去最高だった。配電会社の買収・民営化という大型案件が続き、エネルギー分野の投資が約4割を占めた。GDPに占めるFDIの割合が9.2%となり、ルーマニア(5.6%)やチェコ(4.4%)などの近隣諸国に比べても、対内投資が活発であった。
- 2004年の国別投資実績では、オーストリア(34.8%)が配電会社買収などで1位となり、オランダ(17.4%)、チェコ(13.4%)、ドイツ(9.9%)が続く。投資企業では、上位5社にチェコCEZ、オーストリアEVN、独エーオンなどの電力会社が名を連ねた。

〔主要経済指標一覧〕

| | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 |
|---------------------|-------|-------|-------|--------|
| 実質GDP成長率 (%) | 4.1 | 4.9 | 4.5 | 5.6 |
| 鉱工業生産成長率 (%) | 1.5 | 6.5 | 14.1 | 18.3 |
| 消費者物価上昇率 (%) | 7.4 | 5.8 | 2.3 | 6.2 |
| 失業率 (%) | 17.3 | 16.3 | 13.5 | 12.2 |
| 輸出額 (FOB) (100万ユーロ) | 5,714 | 6,063 | 6,668 | 7,994 |
| 輸入額 (CIF) (100万ユーロ) | 7,493 | 7,755 | 8,868 | 10,712 |

| | | | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|
| 貿易収支 (100万ユーロ) | 1,779 | 1,692 | 2,200 | 2,718 |
| 経常収支 (100万ユーロ) | 1,102 | 926 | 1,630 | 1,447 |
| 同上対 GDP 比 (%) | 7.2 | 5.6 | 9.2 | 7.4 |
| 外貨準備高* (100万ユーロ) | 3,734 | 4,247 | 4,981 | 6,643 |
| 対外債務* (100万ユーロ) | 11,935 | 10,769 | 10,639 | 12,246 |
| 同上対 GDP 比 (%) | 78.3 | 64.9 | 60.0 | 62.9 |
| FDI 受入額 (100万ユーロ) | 903 | 980 | 1,851 | 2,114 |

*：期末値〔出所〕統計局、中央銀行（元データはレバ建て。ユーロ建て換算は WIIW に
よる）

- 2004 年における輸出の 58%、輸入の 54%が対 EU。輸出額は前年比 19.9%増加し、主要な輸出品は衣類（全体比 19.4%）、鉄・鉄鋼（10.1%）、石油製品（7.8%）、金属製品は前年比 26.3%増と急増している。輸入額は前年比 20.9%増加し、主要な輸入品は燃料（全体比 14.8%）、繊維（全体比 11.7%）、機械（9.1%）など。特に、自動車（7.2%）は前年比 54.6%増と大きく伸びた。
- 輸出入相手上位国（2004 年）
（輸出）1.イタリア（全体比 13.1%）、2.ドイツ（10.2%）、3.ギリシア（9.9%）、4.トルコ（10.0%）
（輸入）1.ドイツ（14.6%）、2.ロシア（12.7%）、3.イタリア（9.8%）、4.トルコ（6.0%）
・引き続き、ドイツ、イタリアなどの EU 加盟国が貿易の主要相手国であるが、中国からの輸入（3.3%）が前年比 52%増と大きく伸びている。
- トルコのガラス製造業大手 Sisecam 社は 2005 年 7 月、Targovishte で世界最大規模のガラス食器製造工場の操業開始。年産 5 万 4,000 トンで、売り上げ 5,500 万ドルを見込む。総投資額 7,000 万ドルで、地元雇用者は 580 人。

EU 加盟交渉と今後の課題

- 政府は 2004 年までに、「農業」、「地域政策」、「財政・予算」、「競争政策」、「その他」などアキ・コミュニテール各章の交渉を終了させており、スケジュールどおり 2007 年の EU 加盟を目指す。
- 2005 年 6 月 4 日、欧州委員会と EU 加盟交渉を行い、「農業」、「地域政策」、「財務・予算」の 3 分野で妥結。2007 年 1 月の加盟に向け、31 の交渉分野のうち残されたのは「競争政策」と「その他」となる。

対日関係

- 99～2004 年の日本からの直接投資累計額は約 330 万ドルで全体の 0.1%以下。
- 貿易額は輸出入とも増加しており、対日貿易収支は 2004 年に黒字化した。主な輸出品は繊維製品で、輸入品は電気機器、一般機器が多い。

貿易概況

（単位：1,000 ドル）

| | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 日本の輸出 | 43,526 | 22,198 | 11,302 | 16,350 | 28,225 |
| 日本の輸入 | 25,043 | 17,361 | 20,856 | 25,292 | 27,473 |
| 収支 | 18,483 | 4,837 | 9,554 | 8,942 | 752 |

日本の主要輸出入品目（2004年）（構成比%）

| | |
|----|--|
| 輸出 | 電気機器(44.1)、一般機械(27.1)、乗用車(12.0)、 化学製品(4.1) |
| 輸入 | 繊維製品(45.7)、食料品(24.5、うち魚介類17.2、 アルコール飲料3.8)、旅行用具・ハンドバッグ等 (7.8)、化学製品(6.5)、機械・機器(5.6) |

(出所)財務省「通関統計(通関ベース)」より作成